

我が国の対バングラデシュ 外交の課題

2004年12月2日
在バングラデシュ日本国大使
堀口 松城

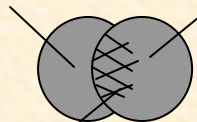
我が国の外交にとっての バングラデシュの重要性

- 途上国 (LDC)のスポークスマン
非同盟国 (NAM)のメンバー
- 穏健かつ民主的なイスラム国
- 南アジアの安定化勢力
- 世界有数の親日国

我が国の対バングラデシュ外交の基本方針

バングラデシュの国益

日本の国益



共通する利益

例 国際社会の平和と安定、
民主主義の定着、
貿易・投資促進、
開発の実現、etc.

日バングラデシュ関係

- ハイレベル事務協議 (6月、東京)
 - 田中外務審議官-チョウドリー外務次官
 - 1996年以来2回目
- ジア首相海外訪問
 - 東方政策
 - タイ、ミャンマー、インドネシア、ブルネイ等
 - 中国には2回
 - 日本は未訪問
 - 実現を目指す

治安の悪化

重大事件の未解決

- 一連の爆破事件
- 武器密輸事件
- アワミ連盟集会爆破事件
- RABの荒療治による一定の改善

国民不在の政治的対立

→発展を阻害

次回選挙

2006年10月 現政権任期満了
選挙管理内閣発足

2007年1月頃 選挙

- 過去3回の選挙
- アワミ連盟・BNPとも得票率伸ばす
- BNP→ジャマティ支持者票を吸収
- アワミ連盟→純増
- 小選挙区制→他党との協力が必要か

対印関係

改善の動き見られず

- 反印政府組織の隠れ家
- 対印貿易の赤字
- 河川連結プロジェクトへの懸念

対中関係

- BNP→インドルン制のため中国重視
- 軍事協力 (中国製武器圧倒的)
- 防衛協力協定締結 (2002年)
- 対中貿易赤字
 - 46百万ドル対1,330百万ドル (2003/04年)
- MFA失効の影響
- 経済協力関係の今後の進展

SAARC首脳会議

SAARC 南アジア地域協力連合

2005年1月9日～11日、ダッカにて開催

- バングラデシュが20年前に提唱
- SAFTA (南アジア自由貿易協定) 枠組み協定署名 (今年1月)
- 日・SAARC特別基金による協力

国別・商品別輸出額

2003年7月～2004年6月)

	ニット製品	縫製品	その他	合計	構成比 (%)
米国	236,793	1,391,795	337,994	1,966,582	25.87
EU	1,683,097	1,800,283	603,605	4,086,985	53.75
日本	3,789	15,997	98,369	118,155	1.55
合計	2,148,022	3,538,066	1,916,910	7,602,998	100.00
構成比 (%)	28.25	46.54	25.21	100.00	

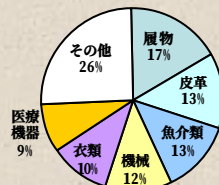
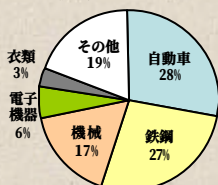
出所 輸出振興庁 (EPB)資料よりジェトロ・ダッカ作成)

日本・バングラデシュ間の貿易

- 貿易面では、我が国は一貫して大幅な出超
- 対日輸入 (日→バ) : 493億円 (2003年)
- 対日輸出 (バ→日) : 152億円 (2003年)

対日輸入品目 (2003年)

対日輸出品目 (2003年)



出所 輸出振興庁 (EPB)資料よりジェトロ・ダッカ作成)

日本の対バングラデシュ投資

我が国の一般投資:

約45億円 (4820万ドル) 登録ベース)

輸出加工区への投資:

約11億円 (1,396万ドル) 集積ベース)

<主な投資分野>

ファスナー
ICT関連
リサイクル
自動販売機
コピー機の部品

経済関係の強化に向けて

- 日本・バングラデシュ商工会議所（JBCCI）設立
→ビジネス環境改善に向けての働きかけ等
- ODAの活用
→基礎 インフラの整備
ビジネス環境の改善

バングラデシュへの開発援助

- 日本と友好関係にあるアジア最大の最貧国であり、最大の課題である開発の実現に向けて支援
- わが国の厳しい財政状況、世界的な開発問題への取組みの動向を踏まえる必要性

国別援助計画改定

- 2004年 5月：ODA総合戦略会議で対バングラデシュ国別援助計画の改定を決定
- 2004年 11月：ODA総合戦略会議で作業方針案と骨子案を審議
- 2005年半ば（予定）対バングラデシュ国別援助計画の改定版を完成

効率的・効果的援助に向けて

《バングラデシュ現地ODAタスクフォース》
最も現地関係者の連携・協力が進んでいる
草分けのタスクフォースの一つ

- 3つの目標
→ 12のセクターワーキンググループ
- 円借款年次協議の再開
- 主要ドナーとの連携
(UNICEF、世銀、UNDP、英国他)

対日理解の促進 親日感情の強化

バングラデシュ人の親日感情

高度成長
経済大国



ギャップを埋める

日本の歴史・文化 国民性

ほとんど知識なし

文化・人物交流活動

外交関係樹立 30周年 (2002年)

- 文化交流
– 和太鼓はぐるま」公演 (11月23日) 等
- 人物交流
– ダッカ大学日本研究センター
ディプロマコース設立
– 帰国留学生会 (JUAAB)設立

文化交流
人物交流の礎



二国間関係
の強化

留学生の重要性

帰国後のアフターケア
日本留学支援

JUAAB

アドバイス・支援
日本文化講座
日本語教室

国費留学生 : 毎年約 120名
総数 2000名以上
JICA卒業生 : 4000名
海外技術者研修協会 (AOTS) 卒業生 : 1000名

広報活動

- プレスリリースの頻繁な発出
- メディアへの働きかけ
- インターネット、衛星放送の利用
- 講演会、ウェブサイト、メールマガジン

対「バ」政策
日・「バ」関係
政情分析
安全情報

よりわかりやすく
有益な情報を提供

危機管理～治安の現状～

全国的に治安は悪化

《法と秩序の問題》

改善のための方策



RABの創設
警察官増員計画
外国治安機関との国際捜査協力

危機管理～治安の現状～

本年の重大事件

シレット爆弾事件 (1月、8月)
チッタゴン密輸事件 (4月)
英国大使負傷 (6月)
8. 21事件 (ワワ連盟集会爆破事件)

全て未解決
外国勢力関与？

危機管理～治安の現状～

バングラデシュ
「穏健かつ民主的なイスラム国」

脆弱な民主主義

貧富の差



イスラム原理主義
テロ活動の活発化

危機管理 ～今後の体制・邦人保護～

- 政府への申入れ

ガバナンスの改善
治安の維持

- ハルタル情報及び
強盗、窃盗等の
一般犯罪情報の発出

邦人安全情報
犯罪地図情報
大使館ホームページ

領事業務

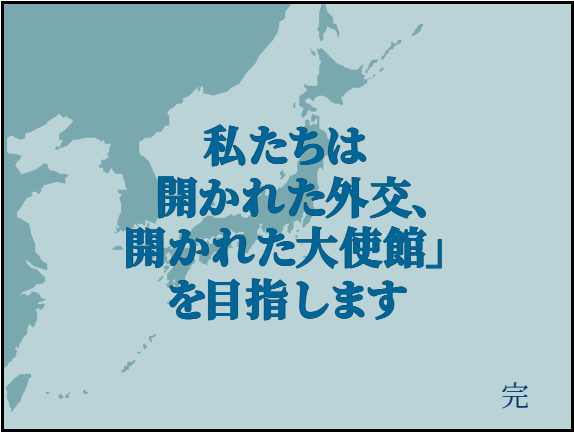
領事局発足」(8月)

領事行政サービスの向上
海外における日本人の安全対策・危機管理

海外交流審議会答申」(10月 5日)

変化する世界における領事改革と外国人
問題への新たな取り組み

領事改革・・・国民の視点に立った
領事サービスの強化
外国人問題・・・政府の体制整備



私たちは
開かれた外交、
開かれた大使館」
を目指します

完